

なぜ Back Ground

今、地球上では、毎日100種類以上の生物が人知れず絶滅していると推定されています。日本でも、絶滅の恐れのある動植物は、3,155種。クマタカの繁殖成功率は、20.8%と低下傾向にあり、両生類・爬虫類では、32.5%がレッドデータに加えられ、絶滅の恐れがある動植物の生息・生育地は、その半数が、里地里山地域に含まれています。

私たちは、初めて人類が引き起こす6度目の大絶滅を防ぐことができるのでしょうか……？

なにを Our Goal

このような現実を自分のこととして捉え、私たちは、次のような社会的使命を持つ C E E D 生態教育センターを設立しました。

ふるさとの野山における生物多様性を保全する中で、生態系の健全な発展を図り、持続可能な社会形成を維持するために、広く市民、企業、行政との連携、協働のもとに、その生息域である自然環境の保全と回復に努め、さらには自然と共生する地域づくりに、主体的かつ継続的に関わり、社会全体の利益の増進に資することを目指します。

どのように Our Policy

活動の基本的理念は、
環境との関わり(環境のエコロジー)
社会との関わり(社会のエコロジー)
そして自らの精神のあり方(こころのエコロジー)
の三つの視点をもつ生態的哲学(エコソフィー)の実践におきます。
この哲学を教育的に展開する概念が、「生態教育＝エコロジカル・エデュケーション」であり、野生生物のための教育と持続可能な未来のための教育を軸足に、幅広い概念として生態教育を捉え、実践していきます。

会費は無料！ 登録制です。
(皆様のご寄付をお待ちしております。)
事業活動やイベント情報などは、主にWEBサイトでお知らせします。

1. 協働会員

パートナーとして事業活動に参画し、その活動を支えます。

	会費	入会金
一緒に活動してみたい、自分も活動に加わりたい そう感じたら、まず協働会員!!	無料	2,000円
様々なイベント、情報ネットワークに参加したいひとは、こちら		
2. ユーザー会員	無料	(1,000円) イベント参加費に含まれています。
イベントに参加したその日から、 あなたはすでにユーザー会員		
3. ネット会員	無料	無料
アドレス登録さえすれば、 あなたはすでにネット会員		

ネットワーク

私たちは、他者への共感の輪を広げネットワークを紡ぎ合わせます。

- ・理事長 小河原 孝生 生態計画研究所 代表取締役
- ・副理事長 高島 千尋 信州大学山岳科学研究所 研究員
- ・理事 五十嵐 実 日本自然環境専門学校 校長
- ・理事 陸 斉 信州野生生物保全センター 事務局長
- ・理事 杉浦 嘉雄 日本文理大学工学部航空宇宙工学科 教授
- ・理事 須藤 哲 NPO法人 みどりのお医者さん 理事
- ・理事 日置 佳之 鳥取大学農学部附属フィールドサイエンスセンター 教授
- ・監事 津田 雅人 元 文化環境研究所 代表取締役

お申し込み、お問い合わせ先



N P O 法人
生態教育センター

〒189-0013 東京都東村山市栄町2-28-5 小河原ビル3F
TEL:042-390-0032 FAX:042-390-1237

E-mail : info@wildlife.ne.jp
U R L : <http://www.wildlife.ne.jp>

N P O 法人 生態教育センター



<http://www.wildlife.ne.jp/>

わたしたちの活動は

調べる



小さなベランダから大きな庭までその生物多様性を向上させることは市街地全体の生物多様性を保全・回復する事につながっています。その第一歩が「お庭の生きもの調査」。日本で初めての取組みが始まっています。

あなたのお庭には、どんな生きものがいますか？
ご一緒に「お庭の生きもの」を調べてみましょう！

お庭の 生きもの調査



2010年度に開始された調査が、今も継続中です。

第7回調査 平成28年5月1日～8月31日

調査参加者数：1098名 調査報告件数：のべ2,878件
参加者居住地：北海道石狩市から、沖縄県豊見城市までの全47都道府県
参加者年齢層：未就学児童を含む家族から、80歳代の方まで

確認された生きものは、395種（昆虫類：318種、鳥類：22種、両生類：5種、は虫類：5種、ほ乳類：3種、その他：42種）になり、2010年度からの総数では、858種にのぼります。アリの仲間が91.4%、クモの巣も87.4%、スズメは78.7%の庭で見つかり、カエルの仲間も23.6%の庭に棲んでいる……など、市街地の生物多様性における「お庭」の大切さが、少しずつですが浮き彫りになってきました。（第6回調査結果より）

初めての方でも簡単にできる「初心者コース」とより詳しい観察を行う「調査員コース」があります。



毎年5月～8月を中心に、両方にご参加いただいても、ご興味のあるものや得意な分野のものなどに限って、ご参加いただいてもかまいません。

庭から始まるエコロジー
あなたも一緒に始めてみませんか？

拡げる



野生生物の減少とその生息環境の衰退は私たち一人ひとりの問題です。他者(人間を含むすべての生きもの)を想うところを育むための「場」や「機会」を提供しています。

子どもから大人まで、楽しみながら学ぶ、幅広いプログラムを提供します

国営木曽三川公園 河川環境楽園 自然発見館 1995～



国営公園における環境教育の拠点として、公園管理センターとのパートナーシップのもと、年間300クラス、1万人を超える学校団体から、30万人を超える一般の幼児や小学生を含むファミリーまで、日本で最も幅広い多様な環境教育プログラムを提供しています。

千葉県 習志野市谷津干潟自然観察センター 指定管理：2015～

東京湾最奥部にあるラムサール条約登録湿地・谷津干潟。都市と自然の共生を目指して、年間約4万3千人の来館者に自然解説や環境教育プログラムを提供し、地球環境の保全を担う人材育成に取り組んでいます。



東京都立葛西臨海公園 鳥類園 2004～



東京湾岸の都立公園内にある、野鳥をはじめとした野生生物のための保護区＝サンクチュアリ。土日祝日の解説活動や野鳥の生息地の管理作業、環境教育プログラムの提供などを行っています。コアジサシの繁殖地保全活動なども実施しています。

世田谷区立 桜丘すみれば自然庭園 2004～

武蔵野の風景を再現するという構想のもと、昭和初期につくられた邸宅の跡地を世田谷区が取得。地域住民との協働によって自然庭園として生まれ変わりました。当センターはここに解説員(インタープリター)を派遣し、四季折々の自然情報や体験プログラムを提供しています。



- 次の施設では、(株)生態計画研究所と協働し、プログラムを提供しています。
 - ・新潟県立 こども自然王国 (新潟県柏崎市)
 - ・山梨県早川町 南アルプス生態邑
 - ・大阪府堺市立 堺 自然ふれあいの森
 - ・東京都葛飾区立 水元かわせみの里
 - ・東京都北区立 自然ふれあい情報館
 - ・小峰ふれあい自然郷 (東京都立 小峰公園)



深める

一般の方から専門家を目指す方まで幅広い年齢やキャリアの方に感性と科学を融合しフィールド体験を通してより深い学びを引き出します。

私たちは、野生生物から何を学ぶのか？
観て、触れて、考える機会をお届けします。

ワイルドライフ・セミナー

自然環境や野生生物に関する、より深い体験と理解を求め、保全活動にも興味のある方には、ニホンザル、ツキノワグマ、カモシカなど、テーマを絞り込み、科学的なアプローチを交えた、セミナースタイルのフィールド研修も用意しています。
・山梨県早川町「南アルプス生態邑」等

生態旅遊／生態教育交流研修ツアー

国内外の様々な地域に向かい、地域固有の野生生物や文化にふれる各種のエコツアーを実施。さらに環境教育の先進地を訪ね、現場の現状の視察や、市民団体との交流など、より専門的な研修ツアーも企画しています。
・サンフランシスコ、フロリダ、イギリス、ロンドン、ドイツ、台湾、香港 等



人と自然、人と生きもの、人とひと
さまざまなつながりと関わりを考えます。
「知っていること」から「責任ある行動」へ
その道案内のできる人を育て
人と野生生物のつながりをテーマに
持続可能な社会を目指します。

つなぐ

プロジェクトワイルド指導者養成講座

世界的に最も定評のある、生きものに焦点を当てた体系的な環境プログラム。体験学習法や合意形成の実習を通して体験からの学びを提供できる人材を育てます。
・南アルプス生態邑、自然発見館、堺自然ふれあいの森 等



乳幼児プロジェクト (保育ナチュラリスト資格認定機関) 2012～



子どもたちへの自然体験・環境教育プログラムの提供と共に、「自然と一緒に育ててくれる」そう感じられる大人の育成、園庭・公園などの身近な環境づくりに取り組んでいます。保育ナチュラリストの資格認定や自然を通じた子育て支援等、「自然と共生する地域づくり」の大切な基礎となるこのプロジェクトは、様々な分野の方との協働によりひろがっています。

教材の企画製作・貸出・頒布 政策提言

生息地のジオラマがついたシジュウカラやノコギリクワガタなどのペーパークラフト、ハンズオン型のハビタット・バスルなど教材の企画製作や、貸出・頒布を行っています。

国や自治体の環境や野生生物に関わる施策に関して、生態教育場からの提言を行います。
・東京都環境審議会 等